

科目名	特別支援教育総論			担当教員	松本 和久
単位	2単位	講義区分	講義	ナンバリング	ED1SSR101
期待される学修成果	教科教育 学校と社会				
アクティブ・ラーニングの要素	グループワーク				
実務経験	教諭（講師含む）				
実務経験を生かした授業内容	通常の学級（3年），特別支援学級（11年），特別支援学校（3年）と，合計17年間学校教育現場で児童生徒の支援に携わってきた。その経験を踏まえ，具体的な事例を交えながら授業を進める。				
到達目標及びテーマ	特別支援教育の現状と課題，また，小・中学校や特別支援学校における特別支援教育の概要を理解することを通して，特別支援教育の基本的な考え方や特別支援教育に関する他の講義・演習等を受講するにあたっての基礎的な知識を身に付けることができる。				
授業の概要	特別支援教育は，平成19年4月から学校教育法に位置付けられ，これまでの特殊教育の対象の障害だけでなく，知的な遅れのない発達障害も含めて，特別な支援を必要とする幼児児童生徒が在籍する全ての学校において実施されている。本講義では，特別支援教育全般について概説する。 【デジタル技術利用：該当なし】				

授業計画	
第1回	特別支援教育との出会い（授業ガイダンス）
第2回	特別支援教育と発達障害・重複障害教育の現状
第3回	視覚障害の理解と支援（学習指導要領，教育課程，自立活動など）
第4回	聴覚障害の理解と支援（学習指導要領，教育課程，自立活動など）
第5回	知的障害の理解と支援（学習指導要領，教育課程，各教科等を合わせた指導など）
第6回	肢体不自由の理解と支援（学習指導要領，教育課程，自立活動など）
第7回	病弱の理解と支援（学習指導要領，教育課程，自立活動など）
第8回	重複障害の理解と支援（学習指導要領，教育課程，自立活動など）
第9回	発達障害のある幼児児童生徒の心理・生理・病理
第10回	学習障害・注意欠陥多動性障害・自閉症の理解と支援
第11回	発達障害・重複障害とICT支援 校内外支援体制の構築と連携的支援
第12回	通常の学級における学級経営と発達障害支援 通常の学級における授業づくりと発達障害支援
第13回	特別支援学級における支援の実際 通級による指導の実際
第14回	特別支援学校のセンター的機能 関係諸機関（医療，福祉，労働）との連携
第15回	授業の総括

事前学修	2時間	教科書の該当ページを事前に読み，よく理解できなかった部分をはっきりさせて講義に臨む。
事後学修	2時間	授業で学修したことを整理し，知識の定着を図るとともに，自分自身の考えを明確にしておく。
フィードバックの方法	小レポートにはコメントを添えて返却すると共に，仲間の考えから学ぶことを通して自分の考えを広げたり深めたりできるように，次時の最初に小レポートの内容を踏まえた補足説明をする。	

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
定期試験	50%	特別支援教育全般の知識の定着と具体的な支援，特別支援教育に対する考えの深まりを評価する。

レポート	50%	毎回の授業の最後に課す小レポートで、その日の知識の定着と考えの深まりを評価する。
補足事項		

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
特別支援教育総論〔新訂〕	笹森洋樹・佐藤慎二	放送大学教育振興会	978-4-595-32502-1	なし
参考資料	・特別支援学校 幼稚園教育要領　小学部・中学部学習指導要領，文部科学省，海文堂出版，ISBN978-4-303-12424-3 高等部学習指導要領，文部科学省，海文堂出版，ISBN978-4-303-12427-4 ・特別支援学校学習指導要領解説 総則編（幼稚園・小学部・中学部），開隆堂出版，ISBN978-4-304-04229-4 各教科等編（小学部・中学部），開隆堂出版，ISBN978-4-304-04230-0			